

1学期を振り返って



梅雨の時期は、湿度が高くジメジメとしており、また、晴れ間には、焼け付くほどの夏の強い日差しが感じられ、一年の中で最も過ごしにくい季節ではないかと思えます。

さて、1学期を振り返ると、生徒たちに大きな事故やけがもなく、落ち着いて毎日の学習に取り組むことができたことを一番に喜ばたいと思います。1学期も残すところ、2週間余り。学習については、十分でない内容は何かを把握するなど、少し立ち止まって考えることも必要です。自分の学習の状況にしっかりと向き合って、学力を補ってほしいと思います。また、部活動では、3年間の集大成というべき県大会に臨む生徒がいます。もし敗退すれば、これまで共に練習してきた仲間との試合はなくなってしまいます。一戦必勝の思いで、頑張ってくれることを期待しています。

日々の学校生活では、定時に登校し、授業の終始に「礼」をすることなどにより、緊張感やメリハリを生み出しています。各教室の授業を見て回ると、集中して学習している教室の生徒は、座る姿勢自体がいいことにも気付かされます。「形」を整えると気持ちが引き締まり、学習の効率がよくなり、効果も高まってくるものです。44日間の長い夏休み。教室のような姿勢で勉強する生徒は少ないと思いますが、規則正しい生活を心掛けることこそ、家庭での「形」であると考えます。ご家庭でもお話をいただき、有意義な夏休みとなるようご指導いただけると幸いです。

学習オリエンテーション

6月18日（火）、3年保護者懇談会を実施し、進路についての情報を提供しました。夏季休業中には、各校の体験入学も計画されており、3年生を取り巻く状況は、少しずつ入試へと向かっていることが分かります。各自が充実した夏休みにするためにも、決意をもって「勝負の夏」を乗り越えてくれることを願っています。

1日（月）、全校生徒で学習オリエンテーションを行いました。1学期の自らの学習や仲間との学級での学習の様子を振り返り、反省を生かしてこの夏を乗り切るとともに、2学期につなげるという目的です。体育館の暑さをもものともせず、熱心なグループ討議の後、学年全体で意見交換をして各自の考えを共有するなど大変有意義な時間となっていました。学習委員長の西陽花さんが全体でまとめをしてくれました。その後、私からの講評としてメッセージを伝えました。



「学習オリエンテーションを終えた今、自分の学びを感じることができましたか？」と問いかけてみました。学校における様々な活動において、ほんの少しでも学びを実感できるようになってほしいと願っています。そのためには、どんな活動でも一生懸命に考え、積極的に活動に取り組むことを積み重ねていくことしかありません。小さな学びを大きな学びへとしていくのは自分自身であり、それを行う場所が教室です。教室では、自ら考えをもち、それを他者と比較したり、よりよくしようと再考したりして、自分の考えを広げ、深めることができます。言い換えれば、教室は、学び直し、分かり直しの場所であるということです。これからも生徒同士の関わりを大切にしながら学ぶことが羽咋中のよき伝統となることを願っています。

栄光の足跡

○岡本順文杯石川県中学生弓道大会

男子団体1位 羽咋中A 鶴垣 雅行 小櫃 来斗 酒井 悠志
男子個人1位 小櫃 来斗

○全能登 U15バスケットボール中島大会

3位 佐野 悠大 村本 善 東海 碧月 保志場琉翔 吉野 蒼甫
村本 快 北村 翔星 関軒悠士郎 山田 隼 小路 拓実
岡田 吟弥

○石川県道場少年剣道大会

個人2位 磯見さくら

○巻キッズレスリング大会

中学生の部 40kg級2位 岩井 楓芽

○水道週間ポスターコンクール

優秀賞 堀井 亜瑚

○環境月間ポスターコンクール

優秀賞 谷口 結音



※能登地区中学校体育大会の結果については、本校のホームページに一覧表が掲載してありますのでご覧ください。 <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/hakuij/>

校内外の行事から

☆特別講演会（6/4）

輪島市で漆器店を営んでいる田谷昂大さんを講師にお迎えした特別講演会が実施されました。田谷さんは、能登半島地震で自身の工場が倒壊する中、一早く立ち上がり「輪島塗」の復活、再生、能登の復興に懸命に取り組まれている方です。体験談をもとにした心に響くお話は、未来の社会人である生徒たちに多くの示唆を与えるものとなりました。



☆人権の樹贈呈式（6/4）

金沢地方法務局七尾支局、七尾人権擁護委員協議会から多数の担当の方々に来校していただき贈呈式を行いました。今回、いただいたのは、「ヤマボウシ」で、花言葉は「友情」です。学校にぴったりのこの樹の成長とともに、「友情や思いやりの心」をもつ人権意識の高い生徒・教職員となれるよう努力していきたいと思ひます。



☆職業についての講話（6/20）

講師にジョブカフェ石川の森田 浩さんをお迎えしてお話をいただきました。2年生全員で働くことの意味を考える貴重な機会となりました。また、7月末に実施される職場体験で必要な言葉遣いや態度などもお話していただき、充実した事前学習にすることができました。



充実した夏休みに向けて

44日間の夏休みが始まります。すべての生徒が事故やけががなく、元気に過ごしてくれることを願っています。学習については、課題を確認していただくとともに、「夏休みの生活心得」を踏まえて、安全で、充実した夏休みにしてほしいと思ひます。保護者の皆様には、通知表と共に配付させていただきますので、目を通していただき、ご家庭でも対話していただくと幸いです。

8月13日（火）～16日（金）の期間は、学校閉庁日となります。ご理解のほどよろしく願ひいたします。なお、昨年同様、土、日及び学校閉庁日等であっても、学校への緊急な連絡については、22-1135まで連絡していただければ、担当者に転送されます。

編集後記

Z世代とは、1990年代半ばから2010年代序盤に生まれた世代で、現在12～28歳前後の年齢層を指します。仕事よりプライベート重視、多様性の重視など、以前の若者以上に特徴的な価値観を持っていると言われています▼先日、永世棋聖の称号を手にしたZ世代の代表・藤井聡太さん。現在、21歳にして、将棋界の7つのタイトルを保有している最強の棋士です▼藤井さんがAIを使って棋譜を研究していることは、有名ですが、今、学校でも授業中や家庭学習に、AIドリルを導入しています。自動採点や学習記録はもちろん、生徒に適した問題を出し分けられる機能を搭載し、自分のペースでドリル学習に取り組めるようになってきています▼AIの力を借りながらも、生徒のつまづきを把握し、個別指導をするのは教師の役割。デジタルネイティブと呼ばれる中学生は、なかなか手ごわいですが、教師たちの日々の奮闘は続きます。（宮下）